

水窪の魅力を伝える

観光ボランティアガイドの活動に密着



十月二十七日、観光ボランティアガイドによる高根城のガイドがありました。

この日は、来年の大河ドラマによる浜松地域の観光客増加を見据えて、中区の観光ボランティアガイドの皆さんが勉強のため水窪を訪れました。

前日にはのぼりの設置や高根城へ向かう林道の整備をしたそうので、万全の体制でガイドが進行していきます、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

水窪 報

ふおとりっぷ No.27

令和4年11月1日(火)

浜松山里いきいき応援隊
山崎 洸一

電話: 080-2650-6561

メール: koh1999c@gmail.com



青崩トンネルの工事現場を見学するため、飯田線で平岡駅へ。バスに乗り換えて、今まさに掘削している場所の目の前まで行きました。遠州と信州をトンネル一本で快適に移動できる日ももうすぐです。

飯田線写真展示を開催

無人駅となり、閑散とした水窪駅を盛り上げるべく、飯田線の写真を駅舎内に展示します。モノクロ写真の時代に撮られたものから今を駆け抜ける車両まで様々な展示を揃えましたので、ぜひご覧ください。

- ・場所 水窪駅構内
- ・期日 令和四年十二月一日～令和五年一月三十一日



編集後記

・観光ボランティアガイドの活動に参加。各地域のガイド間で連携があることに驚きました。当日はガイド進行のお手伝いをしました。が、やぐら内部の窓を開けるとときに、木のつかい棒で上開きの戸を支える方式であることに復元の緻密さを感じました。

・行楽シーズンを盛り上げる特産品の販売。前日にお声かけをいただき、テントの設営などに携わりました。初回はお試しでの開催ということで、たまたま通りがかった人が買いに来る、水窪らしいのんびりした雰囲気でしたが、それでも商品はしっかり売れていて、アマゴは完売。水窪の魅力を再確認した一日でした。

・青崩峠トンネルを見学。これまで峠を越えて伝わってきた情報や噂、文化の流れがトンネル開通で大きく変わります。三遠南信の中心に位置する水窪にも様々な影響がありそうです。

行楽シーズンの水窪盛り上げる

毎週日曜に売店 水窪協働センター前駐車場横の空き地で



十月下旬から十一月末までの日曜日に、水窪協働センター前の駐車場横にある空き地で、特産品が販売されています。

秋が深まる水窪の行楽シーズンに多くの観光客に楽しんでもらおうと、有志の皆さんが今年から始めました。

売店には、じゃがたの煮っころがしやこんにゃく、五平餅やアマゴの塩焼きなど、水窪らしさを感じる彩り豊かな商品が多く並んでいます。

開催初日の人気商品はアマゴで、塩焼きは午前中にはほとんど売り切れ、甘露煮も好評でした。

来年以降も来客が見込めるシーズンは開催していきたいとのことで、水窪の盛り上げりに期待が膨らみます。

高根城ガイド当日の様子



③山道に行く



①体育館の駐車場からスタート



②高根城近くの駐車場に到着



⑤堀について解説



④高根城の地図を使った説明



⑥やぐらの中を開放しての説明



⑤水窪の街を見下ろしながら解説